

## 博物館教育論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次に掲げる博物館教育関係法規類等の①～⑩の( )について、下の□の中  
から当てはまる語句を選び、文を完成させなさい。解答欄にはその記号を記しなさい。  
(各2点)

### 社会教育法(昭和24年6月10日法律第207号)

(国及び地方公共団体の任務)

第3条 国及び地方公共団体は、この法律及び他の法令の定めるところにより、( ① )  
の( ② )に必要な施設の設置及び運営、集会の開催、資料の作製、頒布その他の方  
法により、すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら實際生活に即  
する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない。

- 1 国及び地方公共団体は、前項の任務を行うに当たっては、国民の学習に対する多様な  
需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行  
うことにより、( ③ )の( ④ )に寄与することとなるよう努めるものとする。
- 3 国及び地方公共団体は、第1項の任務を行うに当たっては、社会教育が学校教育及び  
家庭教育との密接な関連性を有することにかんがみ、学校教育との連携の( ⑤ )に  
努め、及び家庭教育の( ⑥ )に資することとなるよう必要な配慮をするとともに、  
学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の( ⑦ )及び協力の促進に資するこ  
ととなるよう努めるものとする。

ア. 生涯学習	イ. 教育活動	ウ. 社会教育	エ. 学習活動	オ. 連携
カ. 振興	キ. 向上	ク. 推進	ケ. 確保	コ. 奨励

### 学習指導要領(平成21年3月9日公示)

(高等学校)

第10( ⑧ ) 課題研究

3 内容の取扱い

(1) 内容の構成とその取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。

イ ( ⑨ ) に効果的な場合には、( ⑩ ) や研究機関、博物館などと積極的

に連携、協力を図ること。

サ. 企業	シ. 研究	ス. 地理歴史	セ. 理科	ソ. 総合的な学習の時間
タ. 指導	チ. 学習	ツ. 科学館	テ. 大学	ト. 教育センター

2. 博物館教育について記述した (A) ~ (E) の文章を読み、それぞれ正しいものの記号 1 つを選びなさい。(各 2 点)

(A) 博物館教育の考え方

- ア 博物館が持っている資料、調査研究成果、図書などは、人々に学びのきっかけを与え、学ぶ意欲を引き出す教育資源である。
- イ 1877年に誕生した教育博物館は、教育上必要な内外諸般の物品(標本)を収集し、それらを教育に従事する者や、公衆の来館者に利用してもらうという目的が掲げられていた。その影響を受けている現在の博物館行政においては、教育とは、実物を活用した学校教育での利用に限定されている。
- ウ 博物館の資料を未来のために保存するという使命を達成するため、1960年以降レプリカを活用した体験型の学習プログラムの開発が急速に進んだ。
- エ 1957年のスプートニク・ショックにより、科学技術教育の比重が高まったアメリカでは、博物館の学校利用が急速に減少した。

(B) 博物館の学習デザイン

- ア 博物館の展示は、学芸員の調査研究を基礎に形成される。それゆえ学芸員の最先端の研究成果こそが、博物館展示の教育的価値を決める。
- イ 博物館登録施設には、収蔵庫と展示室に加え、博物館の利用者に対してワークショップや講座を展開することができる教育普及活動を実施するための学習施設を設置しなければならない。
- ウ 日本博物館協会は、博物館の広報や集客計画、展示にかかわる集客イベント、サービスマニュアルを企画運営するための基本スキルを習得する博物館教育研修会を開催している。
- エ 1990年以降のイギリスの博物館では、ヴィクトリア・アンド・アルバートミュージアムを中心に、博物館の展示室を、博物館教育を实践するという視点から、利用者の興味関心を育む学習の場として、教育の専門スタッフが参画し、展示を企画立案するようになってきている。

(C) 博物館教育の取組

- ア 博物館相当施設では、博物館の資料や展示を誰もが楽しく理解できるように解説す

- る博物館のインストラクターに、学習コミュニケーション研修を義務づけている。
- イ 国立科学博物館では、来館者の学習支援を担うレファレンス課を設置し、学習相談の基本スキルを習得した専門職員を配置している。
- ウ 文部科学省に報告する博物館評価において、博物館における特別展、企画展を開催する際に、集客を目的に、各種メディアや企業とタイアップしたイベントや各種プロモーション活動を教育普及活動の実績として報告することはできない。
- エ 一人ひとりの利用者の知的好奇心を育み、継続的な学習支援を想定した博物館教育は、事前告知から展示、ワークショップ、各種教育講座を含めて総合的に計画し、デザインする必要がある。

#### (D) 博物館の学習評価

- ア ミュージアムにおける学習内容が来館者にきちんと理解されているかを評価するために、継続的にテストを実施し、学びの履歴を記録する方法をキャリア評価という。
- イ 博物館の展示や博物館が設定した来館者の学習目的が達成されているかを検証するためには、訓練された調査官などによる面接での学習到達度テストが望ましい。
- ウ 博物館の来館者が入口から出口まで、どのような動線をたどり、どこで立ち止まり、どこを見なかったかまで博物館における行動の追跡する方法を観察調査という。
- エ 一人ひとりの来館者を行動や学びの履歴を記録し、来館者と面接をしながら次の学びへの意欲を促す専門スタッフは、キャリアアドバイザーという。

#### (E) 地域社会と博物館教育

- ア 観光立国などを視野に、まち全体を博物館にする取組が増大している。都道府県が設置運営している博物館では、そのような要請に応え、市民を学芸員にするための学習プログラムを提供している。
- イ 経済産業省では、博物館を起点に地域資源を収集し、それを人々の学びや新たな商品開発に結びつける補助事業を実施し、大きな成果をあげている。
- ウ 歴史や民俗系の博物館では、博物館が収蔵している資料を認知症の治療などに活用する回想法などが福祉医療施設などと共同で開発され注目されはじめている。
- エ 小布施町では博物館を核に、文化財的な文化と生活、すなわち小布施ならではの風土的文化という視点から小布施町の文化資源を収集し、人づくりや町づくりに生かすデジタルアーカイブに取り組んでいる。

### 3. 下記の文を読み、正しいものに○、正しくないものに×を記入しなさい。(各2点)

- (1) 平成21年の博物館法施行規則の改正を機に文部科学省が作成した「博物館実習ガイドライン」では、館園実習としての時間は、35～45時間程度以上で実習期間は

5日間以上行うこととしている。

- (2) 毎年5月18日の「国際博物館の日」は、博物館が社会に果たす役割を広く普及啓発することを目的として、ICOM（国際博物館会議）によって1987年に制定されたものである。
- (3) 移動展示会及び博物館の外に出かけて講演会やワークショップを開催するなどの取組をアウトリーチ活動という。
- (4) 人間の知能には、従来考えられていた言語的知能や論理的・数学的知能に限らず、多様な知能の領域が存在し、それらが相互に、また総合的に作用しているという視点から、あらゆる子供は、集約的な博物館の学習過程に参加すべきであると問題提起したのは、ハワード・ガードナーである。
- (5) 利用者一人ひとりの生涯価値という視点に立つならば、博物館は、常に新しい企画を立て、展示をリニューアルしなければならない。

4. 学校で博物館を利用する際に、子供が主体的に学習活動を行うためにはどのようなサポートが必要であるか、実際に実践している博物館の事例を挙げて説明し、その留意点について自分の考えを400字以内で述べなさい。(30点)

5. 地域資源の収蔵庫としての博物館は、それらを活用することで、人々が地域社会へ誇りや愛着を持てるように促すための働きかけをすることができる。あるいは、それらの地域資源を編集することで人々の想像力を刺激し、建築家、プランナー、地域団体、産業界に新しい創造力を育むことができる。それに加え、地域社会の一人ひとりの暮らしにチカラを豊かにするための学びを生み出すことができる。

以上のような視点に立ち、地域社会の知と学びの拠点として、博物館教育に取り組んでいる博物館の具体事例を挙げ、地域社会を創造する博物館の可能性について400字以内で論じなさい。(30点)